

BUDŌ

# NEWS

## 今月のニュース



出陣の関を上げる

## 平成 27 年 鏡開き式・武道始め

1 月 12 日・日本武道館大道場



塩谷立大將軍による鏡開き

## 平成 27 年 鏡開き式・武道始め 新年にさらなる武道の発展を誓う

日本武道館の新春恒例「平成 27 年鏡開き式・武道始め」が 1 月 12 日、日本武道館で開催された。会場には武道関係者や愛好者 3000 名が集まり、武道功労者・武道優良団体の表彰、鎧着初め、鏡開き式、模範演武、武道始め（各道稽古会）などが行われた。



武道功労者・武道優良団体表彰式



出陣



模範演武





開会式

平成 27 年鏡開き式・武道始め

# 新春に際し 武道の隆盛と発展を誓う

日本武道館の新春恒例「平成27年鏡開き式・武道始め」が1月12日、日本武道館で開催された。当日は晴天に恵まれ、会場には武道関係者や愛好者3000名が集まり、武道功労者・武道優良団体の表彰、よろい鎧着初め、鏡開き式、模範演武、武道始め(各道稽古会)などが行われた。

定刻の正午、大太鼓の合図で鏡開き式・武道始めは始まった。

開会式では、主催者を代表して松永光日本武道館会長が挨拶に立った。「鏡開き式・武道始めに大勢の武道関係者がお集まりのもと盛大に開催されることに厚く御礼申し上げます。日本の伝統文化の中でも、最も国民に愛されているのが、武道であると思います。今日お集まりの皆様にも、武道が日本人の魂を奮い立たせ、日本らしい日本を作るために大きな役割を果たしているところをご理解賜りまして、武道の普及振興のために協力賜りたいとお願います次第であります」

次に高村正彦武道議員連盟会長が来賓挨拶を述べた。「武道は、それぞれに伝統を持ち、技の体系を持つ



丹羽秀樹文部科学副大臣



高村正彦武道議員連盟会長



臼井日出男日本武道館理事長



松永光日本武道館会長



【武道功労章受賞者一覧】

- ▽柔道 五十嵐寛司(新潟)
- ▽剣道 武安義光(東京)
- ▽弓道 上田正康(京都)
- ▽相撲 南和文(東京)
- ▽空手道 石川豊(香川)
- ▽合気道 遠藤征四郎(千葉)
- ▽少林寺拳法 藤田昌三(愛知)
- ▽なぎなた 黒川久子(鹿児島)
- ▽銃剣道 石崎八藏(宮城)
- ▽日本武道館 塩谷立(静岡)

【武道優良団体一覧】

- ▽柔道 沖縄県柔道連盟
- ▽剣道 全日本学生剣道連盟
- ▽弓道 鳴鳩榭弓友会
- ▽相撲 ダイニツカ相撲部
- ▽空手道 沖縄県空手道連盟
- ▽合気道 全日本合気道連盟
- ▽少林寺拳法 埼玉県少林寺拳法連盟
- ▽なぎなた 長崎県なぎなた連盟
- ▽銃剣道 清風学園銃剣道部

※武道功労章受賞者による寄稿文は23～43頁に、武道優良団体の紹介は164～165頁に掲載されています。

ています。技を修練する中で心と身体を鍛え、道を求め、礼に始まり礼に終わる、そういう共通性を持っています。この武道始めを成功裡に挙行することによって、今年一年、皆様方が素晴らしい武道の発展に寄与していただくよう、ますますのご健闘を心からお祈りいたします」

続いて丹羽秀樹文部科学副大臣が祝辞を述べた。「古式に則った鎧着初め、鏡開き式、模範演武、武道始めなどが行われますが、年頭を飾るこの行事が、今年一年のわが国における武道の振興の大きな弾みになることを心から願っております。文部科学省におきましても、平成24年度より中学校において必修となった武道の指導体制の充実をはじめ、武道振興のための各種施策を推進してまいる所存ですので、皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします」。



◇ 開会式に引き続き、日本武道協会武道功労表彰式が行われた。武道功労者には表彰状と記念品、武道優良団体には表彰状が松永会長から手渡された。

表彰式が終わると、場内は暗転し



神前での誓いの言葉を大將軍が奉読



侍大將が大將軍に到着を報告

# 鏡開き式



副將軍による鏡割り



大將軍による鏡開き

鎧着初め式に移った。照明がつくと、鎌倉時代様式の甲冑を身に纏った武者たちが入場。

今年は、塩谷立日本武道館常任理事が大將軍役を、石川武夫全日本弓道連盟会長と永田仁志日本甲冑武具研究保存会会長が副將軍を務めた。

厳かな雰囲気の中、奉行の菅野茂雄日本甲冑武具研究保存会常務理事の指揮で、まず三献の儀を行った。

続いて大將軍、副將軍らが神前に出て、誓いの言葉を奉読後、鏡開きに移った。



大將軍が掛け声とともに、掛け矢を振り下ろして鏡餅を打ち碎き、副將軍の2人は鏡樽を開くと、会場からは拍手がわき起こった。

その後、大將軍、副將軍が帰陣して兜を着けると、甲冑武者全員が立ち上がった。大將軍が扇を広げ、「えい！ えい！」と発声し、一同が「おう！」と応えて、出陣に先立つ関の声が会場内に響き渡った。そして前軍、中軍、後軍の順で場内を行進し、出陣の儀及び鏡開きは終了した。

続いて、白井日出男日本武道館理



●塩谷立日本武道館常任理事

——大將軍役はいかがでしたか。

「このような伝統儀式の主役を務めさせていただきまして、本当に感謝しております。今日のような伝統の儀式というのは、日本人でも知らないことがたくさんあると思うので、機会があればできるだけ広く披露したらよいと思います。東京2020年のオリンピックの時も鏡開き式を披露できたら、外国の皆さんは大変興味深く御覧になるんじゃないかと思う

ています。このような伝統行事を

継承していくことが大事だと改めて感じました」

——鎧の感想について

「大変重たいです。古の武士は、鎧を着けてどれだけ動けたのか計り知れないところはありますね。また、將軍という、責任の重さも感じます」

——年頭に当たり一言お願いいたします。

「新しい時代に向かってスタートの年となるべく、我々も日本国の



●石川武夫全日本弓道連盟会長

——副將軍役はいかがでしたか。

「緊張しました。それにこの甲冑が重たいですね。全日本弓道連盟会長の職は今年で任期満了になりますが、最後の年に副將軍役で鎧を着けられてよかったです」

——鎧を着けて弓が引けますか。

「たぶん引き方が違うと思うんですけど、ね。兜まわりもあるし。しかし、よくこんな出立ちで、戦ができたと思います」

ために、そして日本が武道の精神に基づいて、世界に改めて輝いていって羽ばたくようなそんな年にしたいと思っています」

事が模範演武の開始を宣言した。

最初は、弓道の「一つの坐射礼」

から始まり、剣道の「全日本剣道連

盟居合」、合気道の「基本技・応用技・

自由技」、少林寺拳法の「単独演武・

団体演武・組演武」、柔道の「古式

の形」、なぎなたの「全日本なぎな

たの形」、空手道の「男子個人形（ア

ーナン）」、銃剣道の「銃剣道の形・

応用技・試合」、相撲の「基本動作

と技・決まり手の説明」が行われた。

修練された技の数々に魅了された客

席からは、各道の模範演武者へ惜し

まない拍手が送られた。



模範演武が終わると大道場いっば

いに広がった。「武道始め（柔道、

剣道、相撲、空手道、合気道、少林

寺拳法、なぎなた、銃剣道の稽古

会）」となった。稽古会には、老若

男女約1500名が参加し、会場は

武道修業者の熱気に包まれた。

稽古会の後は、「おしるこ会」と

なり、大道場でおしるこや鏡樽のお

酒も振る舞われた。稽古仲間や先

生、保護者も一緒に楽しむ会を楽

しみ、和やかな雰囲気の中、式はお

開きとなった。

# 模範演武



弓道



合気道



剣道



柔道



少林寺拳法



銃剣道



なぎなた



相撲

■模範演武者（演武順）

- ▽弓道 齋藤往子 教士七段、鹿野信 恵 教士七段、平澤敏弘 錬士六段
- ▽剣道 青木栄治 範士八段
- ▽合気道 金澤威七 段、櫻井寛幸 六段、鈴木俊雄 五段、小谷佑一 五段
- ▽少林寺拳法 福家健司 准範士七段、麻田育弘 大拳士五段、佐藤裕太 中拳士三段、上島浩史 三段、松岡俊哉 三段、松原健三 段、松林昂希 初段、梅根輝来人 中拳士三段、倉地宏明 少拳士三段、新保和樹 初段
- ▽柔道 大石萬喜夫 六段、加藤隆雄 七段
- ▽なぎなた 谷本良子 教士、福岡知子 教士
- ▽空手道 喜友名諒 四段
- ▽銃剣道 唐川敏博 教士八段、坂元誠 教士七段、谷山健夫 錬士六段、保志智康 錬士六段、栗原毅 錬士六段、鈴木孝信 錬士六段、菅原誠 錬士六段、佐藤岳 錬士六段、渡邊裕太 五段、中澤哲也 三段
- ▽相撲 舛田守七 段、黒川宏次朗 参段、小笠原圭希 初段、川本颯 弐段、中山綾太 初段、高橋幸樹 弐段



空手道

# 武道始め



# おしるこ会



好評発売中

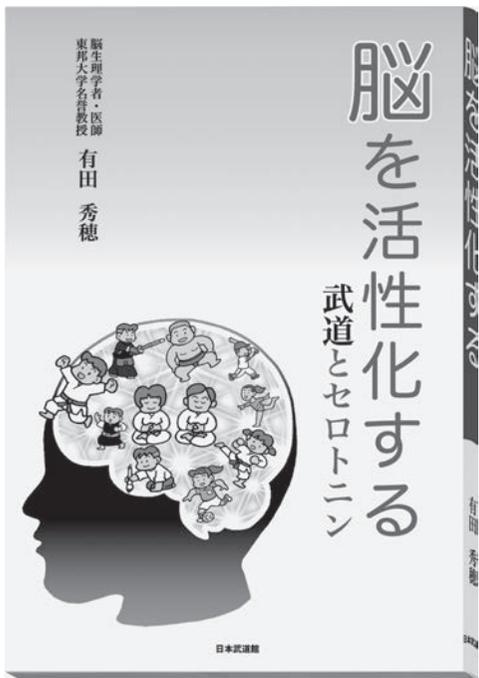
脳生理学者・医師  
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

# 脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もがわかる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂  
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



## 主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン

ストレスとしごき

空海はセロトニン活性の達人

『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング

沢庵の「不動智」とワーキングメモリー

不動明王と心の三原色

『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識

悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成

「茶の湯」とセロトニンの生活

「自然に体が動いた」を脳科学で解く

勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する

「武道の礼法」は社会脳を育む

相撲の「四股」は品性を育む

書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心

日本の祭にはセロトニンがたっぷり

スキンシップとオキシトシン

空手の稽古は坐禅修行に通じる

脳は「丹田呼吸法」をどう操るか

試合における最適な覚醒状態

サイエンスは「気」をどこまで解明したか

仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光

東邦大学名誉教授 有田 秀穂

…他

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



# 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



# BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

(翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット)

(B5判・上製・DVD付・336頁)



# 武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

(四六判・上製・344頁)



# 武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

(四六判・上製・278頁)



# マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



# 武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



# <増補版> 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

(四六判・上製・326頁)



# 今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



# 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)



# 武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

(四六判・上製・248頁)



# 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



# 武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

(四六判・上製・220頁)

◆ 講道館鏡開式

柔道のさらなる普及・発展を願う

講道館鏡開式が1月11日、講道館大道場で、約600名の修業者が集まって行われた。

式は午前10時に始まった。はじめに館員を代表して高木志行八段が賀詞を述べた。

「2020年東京オリンピックまで5年となりました。多くのメダルを獲得できるよう、選手を育成し、送り出していきたいと熱望いたします。年頭に当たり、講道館の一層の<sup>いっさか</sup>弥栄をお祈り申し上げます」

続いて、上村春樹館長が年初の挨拶



上村春樹館長

挨拶として次のように述べた。

「今年も柔道界の安泰と柔道が正しく普及・発展していくことを願い、柔道人が一丸となって努力していかなければならないと思っています。そのためには、教育としての柔道を力強く推進しなければなりません。嘉納治五郎師範の遺訓に立ち返り、『精力善用』『自他共栄』に努め、先人が築いた柔道を発展させていかなければならないと思っています。館員の皆様にもよろしくご指導・ご協力をお願いいたします」

七種の形の演武、全日本強化選手との少年部・女子部・成年部の乱取稽古、「少年投の形」演武が行われ、昇段発表および証書授与では、昇段者の代表者に上村館長から証書が手渡された。

恒例のしるこ会となり、参加者はしるこに舌鼓を打ちながら談笑し、最後は万歳三唱で締め括られた。

(右) 高木志行八段が賀詞を述べる  
(下) 少年部の乱取には井上康生全日本男子監督も参加



五の形

形演武者

◇投の形=取・竹澤稔裕五段、受・鮫島康太四段◇固の形=取・中山智史四段、林聖治四段◇極の形=取・有川勇貴五段、受・横山喬之五段◇柔の形=取・南保徳双六段、受・畠山洋平五段◇講道館護身術=取・山本三四郎六段、受・平野弘幸七段◇五の形=取・佐藤正八段、受・道場良久七段◇古式の形=取・福島美智男八段、受・宗義明八段



◆ 合気会鏡開き式

しっかりと稽古して、  
合気道の精神で社会貢献を

合気会鏡開き式が1月11日、合気道本部道場で開かれ、全国から800名の修業者が集まって新年を祝った。

午後2時に式は始まり、最初に植芝守央合気道道主が年頭の挨拶を述べた。

「合気道は世界130カ国に大きな輪ができております。これは開祖植芝盛平翁が創始し、吉祥丸二代道主はじめ先達の方々が技法を受け継ぎ普及振興を続け、皆様方が真摯な気持ちで稽古している結果だと確信しています。合気道の精神を生かして社

会貢献していくのが私たちの役目です。そのためにも、共にしっかりと稽古をして歩んでまいりましょう」

また、古藤昇司合気会常務理事、来賓の山谷えり子国家公安委員会委員長と保坂三蔵元参議院議員が挨拶に立った。

植芝道主による奉納演武の後、推薦昇段者発表および証書授与式が行われた。七段までの各段位昇段者の代表者と、八段昇段者（和田昭氏、金塚稔氏、ドナルド・モリヤマ氏、ロバート・T・クボ氏、阿部豊雲氏）のうち出席した3名に、植芝道主が証書を手渡した。



植芝守央合気道道主

式の終了後は、直会なほひが開かれた。多田宏本部長が挨拶を述べ、赤沼二己男理事の発声で乾杯。参加者におしるこが振る舞われ、歓談の途中、八段昇段者から昇段にあたっての言葉が述べられるなど、賑やかに新年を祝った。



奉納演武



外国人修業者の姿も多く見られた



八段に昇段し、植芝道主から証書を受け取る和田昭氏

# 500名の拳士が演武、新年を祝う

1月11日、「鏡開き・稽古始め」が香川県多度津町にある一般財団法人少林寺拳法連盟本部にて開催された。鏡開き式当日は、気温も冷え込み、肌寒く感じられたが、幸いにも晴天に恵まれ、全国各地より約800名の拳士・保護者、関係者が訪れ、新年の幕開けを祝った。

今年の鏡開き・稽古始めには、全国各地から約500名の拳士が集まった。午前10時30分、鏡開きは荒井章士振興普及部部長の主座による鎮魂行より始まった。



新井庸弘会長

次に、新井庸弘一般財団法人少林寺拳法連盟会長より、「今年も明るく元氣よく修練に励むとともに、少林寺拳法の創始の目的である平和な社会の実現に向け邁進していきましよう」と年頭挨拶がなされた。その後、2015年各種表彰受賞者の紹介が行われ（勤続表彰・継続表彰、少林寺拳法グループ表彰、武道功勞者表彰、武道優良団体表彰）、少林寺拳法の振興普及活動への尽力に対し、盛大な拍手が送られた。

続いて、一般の部と少年の部に分かれての稽古始めが行われた。少年の部では全体で基本演練を行ったのちに、各資格に分かれての稽古、講話が行われた。少年拳士の多くは、初めて連盟本部の道場へ訪れる拳士であり、皆緊張しながら稽古をしている様子が印象的であった。

一般の部では新井会長の指導のもと、柔法の科目を中心とした稽古が



稽古始めの練習風景

行われ、技の原理原則や基本部分について学びながら、熱心に練習に励んでいた。参加した拳士たちからは「今年も一年、怪我や病気をすることをなく、しっかりと練習に励んでいきたい」との声も聞かれ、短い時間の中であったが、技の楽しさや奥深さを肌で感じ、何度も繰り返し汗を流して練習する姿は、1年の始まりにふさわしい稽古始めとなった。

続いて、様々な世代による少林寺拳法の修行の成果を披露するという趣旨のもと、小学生、大学生、シニア、本部職員による技術や演武の披露が行われ、それぞれの演武に会場からは大きな拍手が送られた。次に、



新年に500名もの拳士が集まった

約120名が参加しての演武会を行い、参加者たちは、日頃の修練の成果を發揮し閉会となった。閉会后には、来場者全員にぜんざいが振る舞われた。

その後、会場を移してご来賓をお招きした新春懇親会では、浜田恵造香川県知事を始めとする後援者や関係者約300名が参加され、鏡開き・稽古始めは、盛会のうちに幕を閉じた。  
〔文・写真〕一般財団法人少林寺拳法連盟

好評発売中

『人、人、人、  
すべては人の質にある……』  
少林寺拳法創始者・宗道臣先生に  
直接手ほどきを受けた著者入魂の  
武道教育論！

# 可能性の

# 種子たち

『**魄**』は生きるための生命力――  
『**魂**』は人間を善に導く原動力――

魂魄(こころ)が健全に育てば、豊かな感性や  
意思力、行動力などが備わり、やがて得るであ  
る多くの知識を、智慧とすることが出来る。  
子どもたちの躍動の一つひとつが、可能性の種  
子の芽生えなのである。

――魂魄(こころ)を育てる――

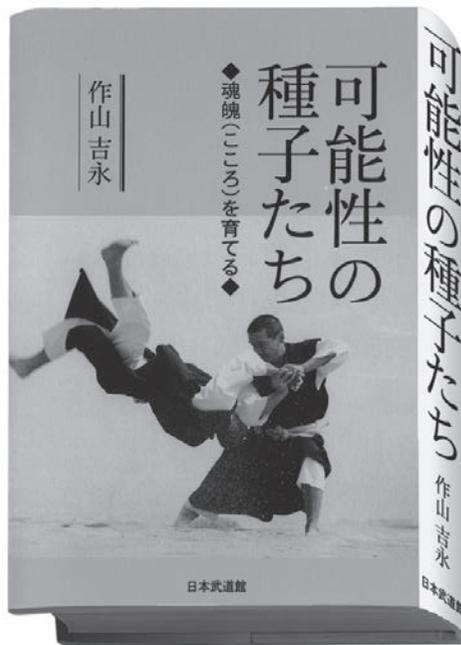
金剛禪総本山少林寺茨城高萩道院長

作山吉永 著

(四六判・上製・338頁)

### 主な目次

- 第1章 少林寺拳法 / 第2章 直心是道場 / 第3章 師事 /
- 第4章 マイ・アメリカ / 第5章 可能性の種子、芽吹く /
- 第6章 嵩山少林寺 / 第7章 魂魄(こころ)を育てる /
- 第8章 新しい扉を開く



編集・発行 日本武道館  
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
 ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
 日本武道館出版広報課  
 までどうぞ！

TEL03(3216)5147  
 FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



# 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



# BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット

(B5判・上製・DVD付・336頁)



# 武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

(四六判・上製・410頁)



# 大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

(四六判・上製・376頁)

# マンガ・武道のすすめ



(B5判・236頁)

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！  
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・  
銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、  
すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。  
大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。



少林寺拳法は4話を掲載！





第 19 回世界相撲選手権大会・第 10 回世界女子相撲選手権大会

# 男子団体は日本が 3 連覇！

女子は山中未久が銀メダル獲得

文・写真提供 安井和男日本相撲連盟常務理事

第 19 回世界相撲選手権大会、第 10 回世界女子相撲選手権大会は昨年 8 月 31 日、台湾・高雄市鳳山体育館で 24 力国が参加して開催された。日本は、男子個人軽量級・中量級の 2 階級を制覇し、団体戦でも 3 連覇を達成した。

女子は、個人軽量級で銀メダル、中量級・無差別級・団体戦で銅メダルを獲得する健闘を見せた。

## ■男子

◇個人

▼軽量級

優勝 中村友哉（金沢学院大）

2 位 ロザム・アールン

（ポーランド）

3 位 モングシュ・アンドレイ

（ロシア）

3 位 シェヴ・ペンコ

（ブルガリア）

中村友哉が実力を十分に発揮し、初戦から決勝まで、危なげない相撲で初優勝に輝いた。

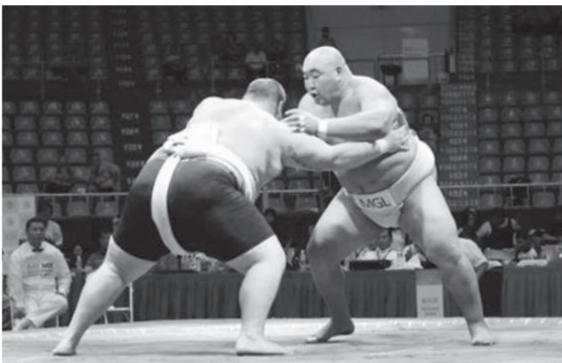
前回大会で高校生ながらこのクラスに出場したものの、1 回戦で不覚を取った中村は、苦い経験を乗り越え、見事に雪辱を果たした。



相撲巧者同士の見応えのある攻防



中量級準決勝＝ウスフバヤル（左）の豪快な吊り出し



大相撲元幕下の大翔地（ウラムバヤル・ビャンブジャブ〈右〉）も大活躍

▼中量級

優勝Ⅱ野口清之

（平戸市立生月小教員）

2位Ⅱオチルフー・ウスフバヤル

（モンゴル）

3位Ⅱカラサル・エレス（ロシア）

3位Ⅱエルマコフ・コンスタンティン

（ウクライナ）

一昨年の全日本選手権で、小兵ながら第3位に入賞した野口清之がこの日も絶好調。決勝では、昨年まで東京農業大学に相撲留学していたオチルフー・ウスフバヤルを寄せ付けず、初優勝を飾った。

▼重量級

優勝Ⅱカラエブ・アラン（ロシア）

2位Ⅱオーロフ・イエブヘニイ

（ウクライナ）

3位Ⅱウラムバヤル・ビャンブジャブ

（モンゴル）

3位Ⅱカチャコフ・イヴァン

（ブルガリア）

この階級には日本のエース、大道久司が出場した。大道は優勝が期待されたが、ロシアの巨漢カラエブ・アランに跳ね返され、メダル獲得はならなかった。大道を破り、波に乗ったアランがこの階級を制した。

▼無差別級

優勝Ⅱバーサンスレン・トゥルポルト

(モンゴル・日本大)

2位Ⅱヴァレシウク・オレクサンドラ

(ウクライナ)

3位Ⅱ中村大輝 (日本体育大)

3位Ⅱオマーミスバー・ホッサムファシ

(エジプト)

日本大学に留学中のバーサンスレン・トゥルポルトが安定した四つ相撲で混戦を制し、見事初優勝を遂げた。一昨年の学生横綱・中村大輝は緒戦で、奇襲のはたき込みに涙を飲んだが、敗者復活戦を勝ち上がり、3位入賞を果たした。



両手をついた正しい仕切り

◇団体

優勝Ⅱ日本

2位Ⅱロシア

3位Ⅱウクライナ、モンゴル

個人重量級、無差別級で不覚を取った、大道久司、中村大輝が発奮。

決勝では、それまで全て無失点で勝ちあがってきたロシアを3対0で撃破し、3大会連続となる団体優勝を果たした。相撲本家・日本の面目を保った。

■女子

◇個人

▼軽量級

優勝Ⅱコヴァル・ヴェラ (ロシア)

2位Ⅱ山中未久 (立命館大)

3位Ⅱワタナベ・ルシアナ・モンテゴメリ

(ブラジル)

3位Ⅱボイコワ・アリナ

(ウクライナ)

昨年のコンバットゲームズに続き、優勝を目指した山中は準決勝、この階級の女王・ボイコワ・アリナを見事に肩透かして下した。しかし、決勝では実力者のコヴァル・ヴェラが土俵際で放った逆転の掛け投げに涙をのんだ。



団体優勝を決めた中村 (左) の迫真の立ち合い



女子無差別級の上田幸佳（右）は基本の押し相撲で3位入賞



女子中量級の松浦（右）は元気な相撲で銅メダルの大健闘



土俵際の攻防



女王ジガロワ・アンナ（右）の強烈な出し投げ



▼中量級

優勝Ⅱアレクサンドロヴァ・アンナ  
（ロシア）

2位Ⅱオーヤシユコバ・マリヤ  
（ブルガリア）

3位Ⅱ松浦麻乃（焼津市体協）

3位Ⅱオトゴン・ムンクセトセグ  
（モンゴル）

第6回大会優勝の松浦麻乃が出場した。ベテランらしからぬ元気な相撲で健闘した。準決勝では土俵際の小手投げをくらって逆転負けしたものの敗者復活戦を勝ち上がり、見事に銅メダルを獲得した。

▼重量級

優勝Ⅱダボイアン・マリヤ

（ウクライナ）

2位Ⅱマズレク・ジャゴダ

（ポーランド）

3位Ⅱキシドルジ・サンジマー

（モンゴル）

3位Ⅱヴィトティラサン・ヴィパラット

（タイ）

重量級では、体格の違いに圧倒され、日本代表の谷内明日実（日本大）は苦戦を強いられ、3位決定戦でヴィトティラサン・ヴィパラットに捨て身の首投げをくらい、メダル獲得はならなかった。

▼無差別級

優勝Ⅱジガロワ・アンナ（ロシア）

2位Ⅱジョージエヴァ・マリヤ

（ブルガリア）

3位Ⅱベレゾスカ・イヴァンナ

（ウクライナ）

3位Ⅱ上田幸佳（日本大）

ジガロワ・アンナが今大会も圧倒的な強さを見せて優勝、世界大会4

連覇、国際大会8冠を達成した。

日本期待の上田幸佳は、準決勝で女王ジガロワに敗れ、第3位。

◇団体戦

優勝Ⅱロシア

2位Ⅱウクライナ

3位Ⅱ台湾、日本

メンバーに重量級をそろえたロシアが圧倒的な強さで2大会連続優勝を果たした。

第8回大会以来の優勝を目指した日本だったが、準決勝でロシアと対戦し、2対1で惜敗。3位にとどまった。開催国の台湾が大会初の3位入賞を果たした。

一千数百年の歴史を有する  
武道の全容をこの一冊に集大成!!  
武道小百科事典としても役立つ  
充実した巻末の資料編!!

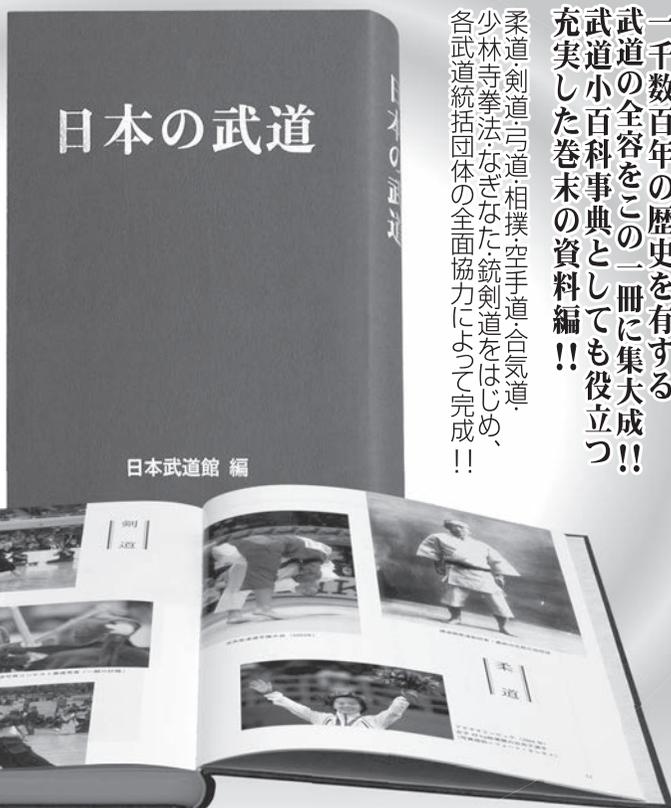
柔道 剣道 弓道 相撲 空手道 合気道  
少林寺拳法 なぎなた 銃剣道をはじめ、  
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

# 日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

# 日本の武道

好評発売中!

日本武道館編



(B5判・上製・箱入・526頁)

### 目次

#### 序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長  
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長  
武道のすずめ：養老孟司 東京大学名誉教授  
武道憲章（「武道憲章」(武道憲章英訳文)「ごも武道憲章」  
カラー口絵(日本武道館・9武道+日武協30年のあゆみ)

#### 第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授  
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野覚明 東京大学大学院教授  
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え：  
村田直樹 講道館図書資料部長  
大保木輝雄 埼玉大学教授

#### 第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者  
第2節 古武道の技と心……………

#### 第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟  
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟  
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟  
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟  
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟  
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟  
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟  
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟  
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

#### 第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………  
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………  
第3節 日本武道学会……………  
第4節 日本古武道協会……………  
第5節 武道学科等設置大学…………… ① 国際武道大学 ② 国士館大学  
③ 東海大学 ④ 日本体育大学 ⑤ 鹿屋体育大学 ⑥ 中京大学  
⑦ 天理大学 ⑧ 筑波大学

#### 第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………  
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………  
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………  
第4節 年表「武道・近代百四十年の歩み」中村民雄 福島大学教授  
第5節 学校体育における武道の変遷…………… 本村清人 東京女子体育大学教授  
第6節 武道主要参考図書……………

(現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



**今、なぜ武道か**  
 —文化と伝統を問う—  
 福島大学教授  
**中村 民雄 著**  
 (四六判・上製・370頁)



**BUDŌ:**  
**THE MARTIAL WAYS OF JAPAN**  
 日本武道館 編  
 翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット  
 (B5判・上製・DVD付・336頁)



**武道**  
**子どもの心をはぐくむ**  
 早稲田大学教授・教育カウンセラー  
**菅野 純 著**  
 (四六判・上製・410頁)



**大先輩に聞く**  
 月刊「武道」記者  
**田谷 将俊 著**  
 (四六判・上製・376頁)

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！  
 柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。  
 大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。



漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著

# マンガ・武道のすすめ



**相撲は4名の先生方を紹介**

武道各種目の概要を見開きで解説

塔尾武夫 現代相撲かくあるべし 下村勝彦 静岡焼津 さかの町のわんぱく力士  
 住吉和則 相撲好き遺伝子を守る! 安井和男 先輩部長が育てる侍力士

若潮杯争奪武道大会

剣道団体、高輪高(東京)が4年連続5回目の優勝

公益財団法人日本武道館開館50周年記念第31回若潮杯争奪武道大会(主催Ⅱ日本武道館、国際武道大学)が、昨年12月26・27日に、国際武道大学で開かれ、全国から選ばれた高校生が剣道、柔道、なぎなたの各種目で覇を競った。



剣道男子優勝=高輪(東京)

□ 剣道の部(男女各24チーム)

5人制で行われ、予選は3チームによるリーグ戦、決勝は各リーグ1位のトーナメント戦によって覇が競われた。

男子決勝は、高輪(東京)と九州学院(熊本)が対戦。試合は先鋒から中堅まで引き分け。副将戦で高輪・野稻陸が胴で一本勝ち。大将戦は引き分け。結果、1-0で高輪が4年連続5回目の優勝を果たした。

女子は守谷(茨城)が麗澤瑞浪(岐阜)を2-0で降し、2年連続6回目の優勝を遂げた。

□ 柔道の部(男女各16チーム)

男子5人制、女子3人制で行われた。予選は4チームのリーグ戦、決勝は各リーグ上位2チームによるトーナメント戦で争われた。

男子は決勝で国士館(東京)が東海大付属相模(神奈川)を4-0で退けて5年ぶり6回目、女子は埼玉



剣道の大会風景

栄(埼玉)が横須賀学院(神奈川)を3-0で降し、6年ぶり7回目の優勝を収めた。

□ なぎなたの部(男子24名、女子48名)

男女とも予選は3人によるリーグ戦が行われ、勝ち残った1人が決勝トーナメントに進んだ。

男子決勝は、埼玉栄同士の対戦となり、遠山祐弥が西川颯人から面を奪って優勝を決めた。

女子決勝は、矢野千央里(秋田・県立大曲)が堂谷内美希(石川・鵬学園)に延長で面を決めて勝利した。

【大会結果】

□ 剣道

▽ 男子Ⅱ ①高輪(東京) ②九州学院(熊本) ③桐蔭学園(神奈川)、佐野日本大学(栃木)

▽ 女子Ⅱ ①県立守谷(茨城) ②麗澤瑞浪(岐阜) ③筑紫台(福岡)、東奥義塾(青森)

□ 柔道

▽ 男子Ⅱ ①国士館(東京) ②東海大付属相模(神奈川) ③足立学園(東京)、天理(奈良)

▽ 女子Ⅱ ①埼玉栄(埼玉) ②横須賀学院(神奈川) ③敬愛(福岡)、東大阪大学敬愛(大阪)

□ なぎなた

▽ 男子Ⅱ ①遠山祐弥(埼玉栄) ②西川颯人(埼玉栄) ③石橋立成(大阪市立汎愛)、飯泉裕太(埼玉栄)

▽ 女子Ⅱ ①矢野千央里(秋田県立大曲) ②堂谷内美希(鵬学園) ③田代真優(奈良大学附属、齋藤萌(仙台育英))





柔道女子優勝=埼玉栄 (東京)



柔道男子優勝=国士館 (東京)

潮杯争奪 潮杯争奪



なぎなた女子優勝  
矢野中央里(秋田県立大曲)



なぎなた男子優勝  
遠山祐弥 (埼玉栄)



剣道女子優勝=県立守谷 (茨城)

日本武道館の単行本



武道における身体と心

神戸学院大学教授 前林清和 著  
四六判・上製・370頁・2,400円+税

「近世武芸書」に残された日本の伝統的心身論を読み解き、全人的教育を目指す武道のあり方を提言する著者渾身の一書。



贈る言葉 なぎなた範士からのメッセージ

月刊「武道」編集部 編  
四六判・上製・366頁・2,400円+税

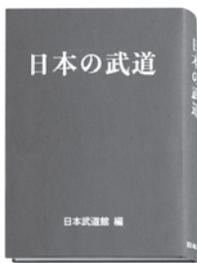
なぎなた界の基礎を築いた全国各地のなぎなた範士25名が後進の指導者・修行者へ贈るメッセージ。近代なぎなたの史料ともなる各範士の歩みを綴った半生記集。



柔道はすばらしい

柔道塾・紀柔館館長 腹巻宏一 著  
四六判・上製・310頁・2,400円+税

ユニークなスタイルで運営されている和歌山の町道場(柔道塾紀柔館)。柔道と勉強の両面指導、創意工夫の指導法などを豊富な写真資料で紹介。



日本の武道

日本武道館 編  
B5判・上製・箱入・526頁・4,000円+税

日本の武道のすべてを網羅した、武道関係者必携の書。一千数百年の歴史を有する武道の全容をこの一冊に集大成。武道小百科事典としても役立つ充実した資料編を巻末に収録。



今、なぜ武道か 一文化と伝統を問う

福島大学教授 中村民雄 著  
四六判・上製・370頁・2,400円+税

知っているようでよく説明できない武道のいろいろな事柄を、古今の豊富な資料をもとにわかりやすく説いた、武道事典ともなる一書。

ご注文・お問い合わせ

日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<http://www.nipponbudokan.or.jp>



日本武道館の単行本

# 著者の80年の生涯にわたる 剣道修錬を集大成した 本格的剣道修行論

好評発売中!



〔写真提供〕剣道時代

# 剣の清流

全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠

敬藏 著

(四六判・上製・344頁)

目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本 (本をクリックすると、詳細が表示されます)



# 日本の武道

日本武道館 編

(B5判・上製・箱入・526頁)



# BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集:アレキサンダー・ベネット  
(B5判・上製・DVD付・336頁)



# 高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

(四六判・上製・564頁)



# 刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

(四六判・上製・346頁)



# マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

(B5判・並製・236頁)



# 武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

(四六判・上製・370頁)



# 禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

(四六判・上製・386頁)



# 今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

(四六判・上製・370頁)



# 人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

(四六判・上製・268頁)



# 武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

(四六判・上製・274頁)

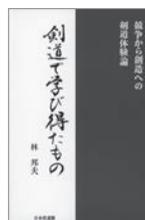


# 兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

(四六判・上製・344頁)



# 剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

(四六判・上製・298頁)